

2018年

# 4月のカレンダー

学びの広場

みんなのちからで30年

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		ちびっこ あーとぼっくす 10~12時		スタッフ ミーティング 10~2時	金曜デイ9時半~4時 お菓子	書道① 12~2時 書道② 2~4時 人形劇 4~6時 三味線 6:30~8:30
8	9	10	11	12	13	14
日曜喫茶1:00~3:45 歌声 昭和 喫茶	カラオケ&ダンス 10時半~2時半		ボランティア(生田)	スタッフ ミーティング	金曜デイ オレンジ	青年の会
15	16	17	18	19	20	21
		ちびっこ あーとぼっくす		スタッフ ミーティング	金曜デイ お菓子	織りもの10~12時
22	23	24	25	26	27	28
			ボランティア	スタッフ ミーティング	金曜デイ 織りもの	青年の会  ダンス 4:30~6:30
29	30					



## 4月の日曜喫茶

ミニ・コンサートは (14:00~14:30)

『音を楽しもう、不思議な楽器』

府中の森岡さんが春風によって  
やってきます。



3月のギャラリーとライブ

ギャラリーは

「日曜喫茶・ランドネ ポスター」展

ミニ・トークはお休みです。



◎毎月のカレンダーはHPにも掲載しています。  
ご利用下さい。(スマホ可)

◎書き損じや余った年賀はがき、未使用のテレカ・商品券などがありましたら、お譲りください。ひろばの通信費等になります。

## 学びの広場

TEL&FAX 042-322-7160

HP <http://manabinohiroba.com/>

E-mail [hiroba@pop17.odn.ne.jp](mailto:hiroba@pop17.odn.ne.jp)



ホングレとアスパラの  
おひたし Sさん



Gさん  
カラー紙で作る手帳カバー

青年の会 善福寺公園



## みなみあきかわ きんきようほうこく 南秋川からの近況報告

なんごうそうかんりにん おおたよしひろ  
南郷荘管理人、太田佳宏



東京の<sup>ひのはらむら</sup>檜原村でキャンプ場をやっています。43<sup>じよう</sup>畳の<sup>おもや</sup>母屋と<sup>はな</sup>離れの<sup>まき</sup>台所、これまた<sup>いぢく</sup>離れの<sup>まき</sup>薪風呂があります。母屋は、明治時代に村の小学校に建てられた教員宿舎を60年前に移築したものです。5年前の大雪によるダメージでこのたび取りこわすこととなりました。

さて、取りこわして何をするのかというと、今度はホントに<sup>まくえい</sup>テントを<sup>まくえい</sup>幕営する<sup>まくえい</sup>キャンプサイトを<sup>まくえい</sup>することに<sup>まくえい</sup>なりました。それに<sup>まくえい</sup>キットで<sup>まくえい</sup>買える<sup>まくえい</sup>別荘風な<sup>まくえい</sup>小屋と、<sup>まくえい</sup>お風呂・<sup>まくえい</sup>シャワー・<sup>まくえい</sup>屋外炊事場の<sup>まくえい</sup>設置も<sup>まくえい</sup>計画して<sup>まくえい</sup>います。以前は<sup>まくえい</sup>単純に<sup>まくえい</sup>建替えを<sup>まくえい</sup>検討して<sup>まくえい</sup>いましたが、<sup>まくえい</sup>車が入って<sup>まくえい</sup>これ<sup>まくえい</sup>ないのが<sup>まくえい</sup>原因で<sup>まくえい</sup>予定が<sup>まくえい</sup>変わりました。

木こりをしながら<sup>かみかわのり</sup>檜原村の上川乗に<sup>かみかわのり</sup>暮らしていますが、<sup>かみかわのり</sup>近所の<sup>かみかわのり</sup>土建屋さんに<sup>かみかわのり</sup>頼まれて、<sup>かみかわのり</sup>南郷荘の<sup>かみかわのり</sup>すぐ<sup>かみかわのり</sup>裏手の<sup>かみかわのり</sup>山の<sup>かみかわのり</sup>木を、<sup>かみかわのり</sup>つい<sup>かみかわのり</sup>先日<sup>かみかわのり</sup>486<sup>かみかわのり</sup>本<sup>かみかわのり</sup>伐り<sup>かみかわのり</sup>終えた<sup>かみかわのり</sup>ところ<sup>かみかわのり</sup>です。<sup>かみかわのり</sup>十数年前にも<sup>かみかわのり</sup>1,600<sup>かみかわのり</sup>本<sup>かみかわのり</sup>を<sup>かみかわのり</sup>伐り<sup>かみかわのり</sup>ました。<sup>かみかわのり</sup>その<sup>かみかわのり</sup>時は、<sup>かみかわのり</sup>家や<sup>かみかわのり</sup>畑の<sup>かみかわのり</sup>日<sup>かみかわのり</sup>当たり<sup>かみかわのり</sup>をよく<sup>かみかわのり</sup>する<sup>かみかわのり</sup>目的<sup>かみかわのり</sup>の<sup>かみかわのり</sup>助成金<sup>かみかわのり</sup>制度<sup>かみかわのり</sup>※<sup>かみかわのり</sup>を<sup>かみかわのり</sup>活用<sup>かみかわのり</sup>して<sup>かみかわのり</sup>ました。<sup>かみかわのり</sup>山主と<sup>かみかわのり</sup>伐る<sup>かみかわのり</sup>人<sup>かみかわのり</sup>には<sup>かみかわのり</sup>それぞれ<sup>かみかわのり</sup>助成金<sup>かみかわのり</sup>が<sup>かみかわのり</sup>あり<sup>かみかわのり</sup>ます。<sup>かみかわのり</sup>さらに、<sup>かみかわのり</sup>伐った<sup>かみかわのり</sup>丸太<sup>かみかわのり</sup>を<sup>かみかわのり</sup>市場<sup>かみかわのり</sup>か<sup>かみかわのり</sup>製材所<sup>かみかわのり</sup>に<sup>かみかわのり</sup>持って<sup>かみかわのり</sup>いって<sup>かみかわのり</sup>（<sup>かみかわのり</sup>搬出<sup>かみかわのり</sup>と<sup>かみかわのり</sup>いいます）<sup>かみかわのり</sup>引き<sup>かみかわのり</sup>取って<sup>かみかわのり</sup>もらい、<sup>かみかわのり</sup>受領書<sup>かみかわのり</sup>を<sup>かみかわのり</sup>役場<sup>かみかわのり</sup>に<sup>かみかわのり</sup>提出<sup>かみかわのり</sup>すると、<sup>かみかわのり</sup>あらかじめ<sup>かみかわのり</sup>申請<sup>かみかわのり</sup>して<sup>かみかわのり</sup>いた<sup>かみかわのり</sup>量<sup>かみかわのり</sup>（<sup>かみかわのり</sup>木材<sup>かみかわのり</sup>の<sup>かみかわのり</sup>単位<sup>かみかわのり</sup>で<sup>かみかわのり</sup>立<sup>かみかわのり</sup>米<sup>かみかわのり</sup>と<sup>かみかわのり</sup>いいます）<sup>かみかわのり</sup>に関して<sup>かみかわのり</sup>さらに<sup>かみかわのり</sup>助成<sup>かみかわのり</sup>を受け<sup>かみかわのり</sup>られます。

伐った人は、伐り賃・丸太の売上・搬出したことによる助成金と三重のお金を手にできるはずですが、このたった2文字の「搬出」がなかなかむづかしいのです。搬出の困難な場所もあり、採算を考えないとできません。搬出不可能となるとせっかく伐った486本はすべて朽ちていくのを指をくわえて眺めるだけになります。本来、木こりは出せると判断した木を伐るものですが、日照の確保の場合はそうではないのです。今回伐った杉やヒノキは、労力と時間の制約のある仕事として「搬出」をするよりも、直下の南郷荘まで必要な時に下ろしては、いろいろなものを作りたいなあと考えています。何よりそのほうが気が楽なのです。

檜原村でもこのようにいろいろなことがあります。広場のみんなにまた使ってもらえるように南郷荘はこれからも南秋川の清流の脇に鎮座してもらおうつもりです。

※冬の時期に家や畑にたくさんの太陽光が当たるように支障木を伐採する助成金制度。